

わくわく交流会in色麻町

日時 令和4年1月27日(木) 13:00～15:30

場所 色麻町農村環境改善センター 1階多目的ホール

参加者 18名(ゲスト2名含む)

講師 キャリアコンサルタント 浅利 賀名衣 様

演題 「豊かに生きる ～女性も男性もともに暮らしやすい社会を一緒に～」

●講演

今回の研修会では、キャリアコンサルタントの浅利賀名衣様を講師にお迎えして「豊かに生きる～女性も男性もともに暮らしやすい社会を一緒に～」と題して講演をいただきました。

時代の流れとともに浅利さんご自身やご家族、周囲の変化があったことを事例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。性別関係なくそれぞれの良さを発揮できる社会にしていくためには、「制度」「意識」の2つの改革が必要となり、私たち一人一人がすぐに取り組むことができるのは「意識」ということを共有いただき、ワークショップの内容とリンクさせて、参加者のみなさんに考えていただきながら聞いていただきました。

●トークセッション



ゲスト：

佐々木 伸子 様 婦人防火クラブ会長、元色麻町議会議員、薬剤師

畑中 けい子 様 人権擁護委員、婦人会吉田地区支部長、加美よつば農業協同組合理事、元加美よつば農業協同組合色麻支店長

佐々木様：色麻町議会初の女性議員になったきっかけ、女性が先に立つのを良く思わない人がおり、周囲に反対される方が多かったことなどお話しいただきました。また、薬剤師として健康に関して色んな情報をまとめたり、お話しすることで社会貢献できたり、皆さんの意見を聞くことは続けていきたいとのこと。

畑中様：人権擁護委員会や農協の理事になったきっかけや、「男女共同参画委員会」で相談を受けていることなどお話しいただきました。色麻町農協では先進的に他の農協の取り組みをいち早く取り入れ、役職にも女性が就くことができることにも触れました。また、地域のボランティアにできるだけ参加し、身の丈にあった範囲で相談を行いたいとのこと。女性はすでに輝いていると思うので、現在女性が多く活躍しているところで、男性も活躍できるようになればいいと思います、とお話しいただきました。

●ワークショップ

講演の演題であった「豊かに生きる」をテーマに、男女共同参画や女性活躍促進の視点で、自分を振り返るワーク、これから先を考えるワークを行い、発表していただきました。

「自分を振り返るワーク（家庭、地域、職場など、自分の周りでの出来事を振り返る）」では、家庭の中で男女共同参画がすすんでいるというお話しや、住んでいる町をいい町にするために、お茶飲み友達とコミュニケーションをとりながら話をしていること、町内会や自治体は役員をほとんど男性に任せていることなどお話しいただきました。

「これから先を考えるワーク（振り返りのワークから見えてきた課題）」では、他人事ではなく積極的にいろんなことに参加することを心掛けたり、責任を取ることに躊躇してしまう部分があり男性に任せてしまう傾向があるので、女性の意識を変えていくためにどうしたらよいかということや、地域のコミュニティや健康維持をしていくことが、男女共同参画のためにも必要、という意見がでました。

最後に、課題を解決するための5W1Hは、発表の時間をとらずに考えていただき、ぜひ具体的に行動に移してほしいということをお話しいただきました。



わくわく交流会in松島町

日時 令和4年2月4日(金) 13:00～15:30

場所 石田沢防災センター 会議室

参加者 29名(ゲスト2名含む)

講師 キャリアコンサルタント 浅利 賀名衣 様

演題 「豊かに生きる～女性も男性もともに暮らしやすい社会を一緒に～」

●講演

今回の研修会では、キャリアコンサルタントの浅利賀名衣様を講師にお迎えして「豊かに生きる～女性も男性もともに暮らしやすい社会を一緒に～」と題して講演をいただきました。

時代の流れとともに浅利さんご自身やご家族、周囲の変化があったことを事例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。性別関係なくそれぞれの良さを発揮できる社会にしていくためには、「制度」「意識」の2つの改革が必要となり、私たち一人一人がすぐに取り組むことができるのは「意識」ということを共有いただき、ワークショップの内容とリンクさせて、参加者のみなさんに考えていただきながら聞いていただきました。

●トークセッション



ゲスト：

清野 陽子 様 ようこ整骨院 院長

大塚 のぞみ 様 Botanical People フローリスト

(生花、フラワーギフトショップ)

清野様：柔道整復師になったきっかけや、地元である松島町で開業し知り合いが多く、先生として認めてもらうには治療してよくなったとき、など楽しくお話しいただきました。また、東京大学大学院総合文化研究科四本裕子准教授の論文に興味深いものがあり、「男の子なんだから、泣いてはだめ」「女子は数学が苦手だから…」という考えはステレオタイプと言われ、その話に共感を覚えたお話をされました。

大塚様：花屋さんになったきっかけや、花き市場などはほぼ男性で、問屋などの管理部門や組織ではまだまだ男性社会であると感じるとのお話をいただきました。自分が立ち上げた現在の職場は全員女性で、働きやすい職場づくりを心掛け、遠慮することなく休んでもらえるよう、他の従業員達で協力しあって働ける職場にしているとのこと。これからもっと良い仕組みを作っていきたい、とお話しいただきました。

●ワークショップ

講演の演題であった「豊かに生きる」をテーマに、男女共同参画や女性活躍促進の視点で、自分を振り返るワーク、これから先を考えるワークを行い、発表していただきました。

「自分を振り返るワーク（家庭、地域、職場など、自分の周りでの出来事を振り返る）」では、家庭の中で男女共同参画がすすんでいるというお話しや、住んでいる町をいい町にするために、お茶飲み友達とコミュニケーションをとりながら話をしていくこと、町内会や自治体は役員をほとんど男性に任せていることなどお話しいただきました。

「これから先を考えるワーク（振り返りのワークから見えてきた課題）」では、他人事ではなく積極的にいろんなことに参加することを心掛けたり、責任を取ることに躊躇してしまう部分があり男性に任せてしまう傾向があるので、女性の意識を変えていくためにどうしたらよいかということや、地域のコミュニティや健康維持をしていくことが、男女共同参画のためにも必要、という意見がでました。

最後に、課題を解決するための5W1Hは、発表の時間をとらずに考えていただき、ぜひ具体的に行動に移してみしてほしいということをお話しいただきました。



わくわく交流会in丸森町

日時 令和4年2月9日(水) 13:30～16:00

場所 丸森まちづくりセンター 2階大集会室

参加者 19名(ゲスト3名含む)

講師 キャリアコンサルタント 浅利 賀名衣 様

演題 「豊かに生きる～女性も男性もともに暮らしやすい社会を一緒に～」

●講演

今回の研修会では、キャリアコンサルタントの浅利賀名衣様を講師にお迎えして「豊かに生きる～女性も男性もともに暮らしやすい社会を一緒に～」と題して講演をいただきました。

時代の流れとともに浅利さんご自身やご家族、周囲の変化があったことを事例を交えながら分かりやすくお話しいただきました。性別関係なくそれぞれの良さを発揮できる社会にしていくためには、「制度」「意識」の2つの改革が必要となり、私たち一人一人がすぐに取り組むことができるのは「意識」ということを共有いただき、ワークショップの内容とリンクさせて、参加者のみなさんに考えていただきながら聞いていただきました。

●トークセッション



ゲスト：

荒 茂美 様

元丸森町教育委員・現丸森町社会教育委員

堀内 美保 様

Tree-Tree-Tree丸森代表・まるもり女子重機隊

伊藤 和花 様

丸森町商工会青年部副部長

荒様：本職は歯科医院勤務で、男性の院長が上司で誰にでも優しい方で差別は全くないのですが、歯科医師会の年配の先生方は、年齢や性別の差別と思われる言動はあったそうです。PTA会長をやったときは、男性との会話では、結論から先に言うことを心掛けることで、対応できるようになりました、とお話しいただきました。

堀内様：重機を扱うのは男性が多く、免許を取りに行った時も女性は自分だけでしたが、重機を使うことで女性でもできる力仕事があることを伝えて仲間を増やしていきたいと、お話しいただきました。

伊藤様：普段は建設業の会社に勤めており男性が多い職場ですが、差別は特に感じていないそうです。少ないですが女性の大工さんもいて、細かい作業などは向いていると思うので、性別にかかわらず、できる人が効率よく行うことや、また自分一人でもなんでもやろうと思わず、協力してもらうことも心掛けている、とお話しいただきました。

●ワークショップ

講演の演題であった「豊かに生きる」をテーマに、男女共同参画や女性活躍促進の視点で、自分を振り返るワーク、これから先を考えるワークを行い、発表していただきました。

「自分を振り返るワーク（家庭、地域、職場など、自分の周りでの出来事を振り返る）」では、家庭の中で男女共同参画がすすんでいるというお話しや、住んでいる町をいい町にするために、お茶飲み友達とコミュニケーションをとりながら話をしていること、町内会や自治体は役員をほとんど男性に任せていることなどお話しいただきました。

「これから先を考えるワーク（振り返りのワークから見えてきた課題）」では、他人事ではなく積極的にいろんなことに参加することを心掛けたり、責任を取ることに躊躇してしまう部分があり男性に任せてしまう傾向があるので、女性の意識を変えていくためにどうしたらよいかということや、地域のコミュニティや健康維持をしていくことが、男女共同参画のためにも必要、という意見がでました。

最後に、課題を解決するための5W1Hは、発表の時間をとらずに考えていただき、ぜひ具体的に行動に移してほしいということを浅利さんからお話しいただきました。

